

日 時 平成23年1月28日(金) 午前10時 開 会

出席議員 (15人)

1番 大久保 朝 泰	2番 大 溝 雅 昭
3番 工 藤 俊 広	4番 工 藤 和 子
5番 工 藤 禎 子	6番 村 上 啓 二
7番 北 山 一 衛	8番 佐々木 隆
9番 後 藤 秀 憲	10番 山 田 鈇 一
12番 中 田 博 文	13番 斎 藤 直 文
14番 工 藤 賢 治	15番 福 士 幸 雄
16番 村 上 隆 昭	

欠席議員 (1人)

11番 鳴 海 泰 三

出席要求による出席者職氏名

市 長	鳴 海 広 道	副 市 長	玉 田 芙佐男
総務部長兼 選挙管理委員会事務局長	鳴 海 勝 文	企画財政部長	成 田 耕 作
健康福祉部長 兼福祉事務所長	齋 藤 繁 人	農林商工部長兼 バイオ技術センター所長 兼農業委員会事務局長	小田桐 正 樹
建設部長	三 浦 裕 寛	建設部理事 公営企業担当	角 田 祐 一
人事課長	沖 野 俊 一	企画課長	後 藤 善 弘
財政課長	工 藤 伸太郎	福祉総務課長	鎌 田 幸 男
高齢介護課長	山 口 幸 誠	建設課長	村 元 茂
農業委員会会長	佐 山 秀 夫	選挙管理委員会 委員長	乗 田 兼 雄
監査委員	廣 瀬 左喜男	教育委員会 委員長	篠 村 正 雄
教育長	横 山 重 三	教育部長	久 保 正 彦
社会教育課長兼 青少年相談センター所長	黒 瀧 清 隆	黒石病院 事業管理者	柿 崎 武 光
黒石病院 事務局長	村 元 英 美		

会議に付した事件の題目及び議事日程

平成23年第1回黒石市議会臨時会議事日程 第1号

平成23年1月28日（金） 午前10時 開 議

- 第 1 会議録署名議員の指名
- 第 2 会期の決定
- 第 3 報告第 1 号 平成22年度黒石市一般会計補正予算（第5号）について
- 第 4 議案第 1 号 黒石市光をそそぐ交付金基金条例制定について
- 第 5 議案第 2 号 平成22年度黒石市一般会計補正予算（第6号）
- 第 6 議案第 3 号 平成22年度黒石市国民健康保険黒石病院事業会計補正予算（第2号）

市 長 提 案 理 由 説 明

出席した事務局職員職氏名

事 務 局 長	境 裕 康
次 長	三 上 亮 介
主 幹 兼 議 事 係 長	太 田 誠
議 事 係 主 査	山 谷 成 人

会議の顛末

午前10時01分 開 会

- ◎議長（斎藤直文） ただいまから、平成23年第1回黒石市議会臨時会を開会いたします。
直ちに本日の会議を開きます。
本日の議事は、議事日程第1号をもって進めます。
-

- ◎議長（斎藤直文） 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。
会議録署名議員は、会議規則第80条の規定により、議長において2番大溝雅昭議員、14番工藤賢治議員を指名いたします。
-

- ◎議長（斎藤直文） 日程第2 会期の決定を議題といたします。
お諮りいたします。
今期臨時会の会期は、本日1日といたしたいと思えます。これに御異議ありませんか。
（「異議なし」と呼ぶ者あり）

- ◎議長（斎藤直文） 御異議なしと認めます。
よって、会期は本日1日と決定いたしました。
-

- ◎議長（斎藤直文） 議長交代のため、暫時休憩いたします。

午前10時02分 休憩

(議長退席・副議長着席)

午前10時04分 開議

◎副議長(佐々木隆) 休憩前に引き続き会議を開きます。

諸般の報告をいたします。

議員派遣の件について、別紙議員派遣承認報告書のとおり、閉会中、議長において議員派遣を承認しましたので、御報告いたします。

◎副議長(佐々木隆) 日程第3 報告第1号から、日程第6 議案第3号まで、合わせて4件を一括上程いたします。

この際、理事者から提案理由の説明を求めます。市長。

登壇

◎市長(鳴海広道) 今回の臨時会に提案いたしました議案の概要について、御説明申し上げます。

案件は、「黒石市光をそそぐ交付金基金条例制定について」並びに「平成22年度黒石市一般会計補正予算(第6号)」など、4件であります。

まず、報告第1号は、処分第1号「平成22年度黒石市一般会計補正予算(第5号)について」であります。地方自治法第179条第1項の規定に基づき、専決処分をいたしましたので、同条第3項の規定により報告し、承認を求めます。

補正の内容であります。年末からの相次ぐ降雪により、除雪対策費に不足が生じる可能性が高くなったことから、歳出において8款 土木費に6,500万円を追加し、2款 総務費で財政調整基金積立金を同額減額いたしました。歳出内部で予算調整したものであり、予算の総額は155億6,744万円で、変更はございません。

次に、議案第1号は、「黒石市光をそそぐ交付金基金条例制定について」であります。配偶者等からの暴力、児童虐待等に対する相談業務拡充を図ることを目的に当該基金を設けるため、地方自治法第241条第1項及び第8項の規定に基づき、条例を制定しようとするものであります。

次に、議案第2号は、「平成22年度黒石市一般会計補正予算(第6号)」であります。歳入歳出それぞれ1億7,965万8,000円を追加し、予算の総額を157億4,709万8,000円にしようとするものであります。

先般、円高・デフレ対応のための緊急総合経済対策として、国の補正予算が成立したことに

より、地域活性化策として地方公共団体に対し、地方交付税3,000億円の追加や、「きめ細かな交付金」2,500億円、「住民生活に光をそそぐ交付金」1,000億円の配分が確定したことから、補正するものであります。

歳出では、まず2款 総務費で、普通交付税の配分に伴い、財政調整基金積立金6,826万7,000円を追加いたしました。

3款からは、「きめ細かな交付金」、「住民生活に光をそそぐ交付金」に係る各事業の経費を追加しようとするものでありますが、内訳は、3款 民生費が老人福祉センター改修工事費、DV・児童虐待等相談業務拡充に伴う光をそそぐ交付金基金積立金2,512万3,000円、4款 衛生費では病院事業会計補助金1,575万円、8款 土木費が運動公園等改修工事費、あけぼの町市営住宅敷地内通路補修工事費3,057万4,000円、10款 教育費では学校図書館等図書購入、中郷公民館等耐震補強工事費、山形公民館等給水管改修工事費、スポカールイン黒石外構等整備工事費3,994万4,000円となっております。

歳入は、9款 地方交付税で普通交付税の増に伴い、8,738万円を、13款 国庫支出金で「きめ細かな交付金」8,021万5,000円、「住民生活に光をそそぐ交付金」1,206万3,000円の計9,227万8,000円をそれぞれ追加計上いたしました。

議案第3号は、「平成22年度黒石市国民健康保険黒石病院事業会計補正予算（第2号）」であります。資本的収入及び支出について、収入・支出とも1,575万円を追加し、資本的収入の総額を25億5,891万8,000円に、資本的支出の総額を27億171万8,000円にしようとするものでございます。

内容は、「きめ細かな交付金」で手術室の滅菌機等を購入しようとするものであります。

以上、議案の内容を簡単に申し上げましたが、御審議の際、詳しく御説明いたしますので、原案どおり御承認並びに御議決賜りますようよろしくお願い申し上げます。

降 壇

◎副議長（佐々木隆） 日程第3 報告第1号 処分第1号 平成22年度黒石市一般会計補正予算（第5号）についてを議題といたします。

提案理由の補足説明を求めます。

（「省略」と呼ぶ者あり）

◎副議長（佐々木隆） 省略の声がありますので、省略いたします。

お諮りいたします。

本件については委員会の付託を省略し、直ちに審議いたしたいと思っておりますが、御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎副議長(佐々木隆) 御異議なしと認め、委員会の付託を省略し、直ちに審議いたします。

質疑に入ります。5番。

◎5番(工藤禎子) まれに見る豪雪になりましたので、いろいろと市民からも要望が寄せられていますので、幾つか指摘をしながらお聞きしたいと思います。

まず、1月27日現在、何回出動しているのか。それは適正な出動回数と認識されているのか。それから、何時現在の積雪で判断しているのか、お願いします。

それから、よく除雪の雪を玄関先、あるいは駐車場の先で出ようとしても出れないとか、いろいろとそういう大量に雪を置いていくという苦情はあります。それに対して、どのような除雪作業の対策を、この間ずっと毎年のごとく指摘されていることで、市役所にも苦情等の多い話だと思わなければならないけれども、これをどのような、より改善をするためにどんな対策をとっているのか。あるいは障害者・高齢者世帯だと、本当に大変なことになるんですけれども、そういうのの対応っていうのはですね、どのようになっているのか、お聞きいたします。

それから、今回補正もしたわけですけれども、この中で排雪計画っていうのが何回か入っているのかどうか、お聞きいたします。

それから、特に信号の交差点のですね、信号がないところでもそうですけれども、ちょうど角に車が確認できない見通しが悪い、ぼんと高くなっているという危険な箇所も何カ所かありますので、それらはやっぱり朝夕のパトロールなども含めて、交差点の危険箇所はですね、できないように努めていただきたいと思います、その点どうかと。

それから、除雪のときに特に大きい十文字なんかの近い家、ですから、が一と行くと交差点に近い家にごと雪が置かざるというようなこともありますよね。そういう点では、弘前だとかは交差点の排雪は特別な、一応気を使った除雪方法をしているということなんですけれども、もしどうしようもなければ、排雪なども含めて、そういうところは考慮するとなっているんですけれども、そういうところも何カ所かあるようですので、そういうのの対応はどうなっているのか。

それから、いつも同じ側に雪を寄せていくと。これは場所の状況もあるんでしょうけれども、そういう苦情も聞かえますので、できるだけ均等になるような除雪作業、何か対策を考えているのかどうか、お聞きいたします。

それから、あと今になると、この間天気もよかったので、雪解けもかなりありました。したがって、わだちができていて、それが凍っていますので、非常に危険だということが結構ありますので、そうするとはぐ除雪作業っていいですかね、除雪のときに。そういうような指導っていいですかね、除雪作業に対してのそれなどは行っているものなのかどうか、お聞きした

いと思います。以上です。

◎副議長（佐々木隆） 建設部長。

◎建設部長（三浦裕寛） 除雪対策の質問について、お答えいたします。

1月27日現在の出動回数ですけれども、市街地で7回、山間部で10回出動しております。

それから、玄関先の雪の対応ですけれども、どうしても除雪すると多かれ少なかれいくわけですけれども、特に多めにならないように回数をふやして、玄関前の雪ですけれども少ないようには対応しております。その中で、障害者・ひとり暮らしの方に関しては、民生委員等を通して、特に玄関先に赤い目印などをつけて、特に雪がいかないように対応しております。

それから、排雪計画ですけれども、その計画そのものは除雪計画の中にあるんですけれども、それはその状況状況に応じて対応しております。ことしであれば、きのう、おととい、3日間ですか、夜間の排雪、さらには日中の排雪に努めております。

それから、交差点の雪で視界が悪くなる件については、市の除雪で対応しており、それに追いつかない部分はその工区割の業者の方にも特にその点を注意し、そういう状況であれば自主的に対策、見えるように排雪に努めております。

それから、十文字に近い家の話ですけれども、市の方でも十分気をつけてやっているんですけれども、その後苦情の電話があれば、さらに市の方で現場を確認し、その対応に努めております。

それから、同じ側に雪がいかないように均等に除雪お願いしたいということですが、その通路の状況、道路状況により、両方にどうしても家がある場合は均等にやるんですけれども、なかなか思うようにいかない部分もありますので、そこら辺は御理解いただきたいと思います。

それから、わだちの排除の件ですけれども、これも先ほどお話したように、最近暖かい日が続いておりますので、夜間の除排雪にはそこら辺を重点にやっています。これからも、今までは幹線を主にやっていたので、小さい小路でも当然わだちになっているところがありますので、随時その対策に努めていきたいと思っております。

それから、気象観測の時間ですけれども、12時、県の気象状況を把握しております。

それから、出動回数について適正ですかとの質問ですけれども、適正にやっていると考えております。以上です。

◎副議長（佐々木隆） 5番。

◎5番（工藤禎子） それでは私、平川市と弘前市を調べてみましたが、そちらは適正じゃないんだなあというふうに思いますけれども。平川市はですね、ここは業者に基準を設けて頼みますので、行政で一斉出動というようなシステムはとっていないんですが、26日現在、平均

的には16回出動しています。弘前は、午前1時現在で判断をして、12回今まで出ています。そして、弘前の場合、その1時の時点でもこれから天気予報の関係でね、これからどんどん降り続くようだというふうな場合は、七、八センチでも出動しているというようなお話でした。それから見ると、前に去年だったかおとしだったか、市長がですね、財政再建に取り組んでいる中だけれども、この除雪問題は辛抱するわけにはいかないと。結果的にね、暖冬だと財政的に助かるというのは結果であって、やっぱり徹底することが市民の不安にこたえることでありますよね、より徹底できることが。そういう点から見るとですね、出動回数はやっぱり財政の辛抱を考えずにですね、命の危険ということも絡んでいる問題なので、やっぱり10センチをきちんと守って出動をするふうにさせていただきたいというふうに思います。その点でもう一度お願いいたします。

それから、どかっと前だとかですね、片方だけにとかっていうのはどこでもあるんですけども、今、業者はそのために均等に、両側に均等に置くような除雪を工夫してやっています。だから、そういう点で市民に、それはいくのは仕方がないですから、できるだけ少なくいくように、あるいはこの片方じゃなく均等に雪がいくようにというような配慮をして、除雪作業を業者にも徹底しているようです。その点、十分なのかどうか。不十分だとすれば、そういう指導を行っていただきたいというふうに思います。

それから、交差点の雪の山は本当に危険ですので、かなり前に出ないとね、右折や左折の車が見えないということでは大変ですので、これは手分けしながら早急に雪山を低くしていただきたいというふうに思います。その点もね、今、手が回らないとかっていうふうなお話でしたけれども、全部撤去ということじゃなく、やっぱり高さをですね、削ると見通しがきく高さにしていただけるとよろしいかというふうに思います。そういうことで、意見を述べながら除雪問題、今、本当に皆さん一番悩みも大変な問題ですから、その点よろしくお願ひしたいと思ひます。

◎副議長（佐々木隆） 建設部長。

◎建設部長（三浦裕寛） 平川、それから弘前の例を挙げていますけれども、黒石の場合も自主出動で除雪をしている箇所があります。その箇所は黒石の場合、18回の出動をしておりますので、町中、山間部は同じ数値ということにはいかないと考えております。

それから、弘前の場合、午前1時に出動態勢を組んでいるみたいですがけれども、黒石も同様に24時間体制で除雪センターに勤めていますので、道路のパトロール、それから降雪状況を判断しながら、最低限1時をめぐりに一斉出動を指示しております。

それから、均等の排雪のお願い、それから交差点の見えない部分の解消については、再度委託業者の方にも指示しながら、その解消に努めていきたいと考えております。以上です。

◎副議長（佐々木隆） 質疑を終わります。

討論に入ります。

（「討論なし」と呼ぶ者あり）

◎副議長（佐々木隆） 討論を終わります。

お諮りいたします。

本件は承認することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎副議長（佐々木隆） 御異議なしと認めます。

よって、報告第1号 専決処分につき承認を求めるの件は承認することに決しました。

◎副議長（佐々木隆） 日程第4 議案第1号 黒石市光をそそぐ交付金基金条例制定について
を議題といたします。

提案理由の補足説明を求めます。

（「省略」と呼ぶ者あり）

◎副議長（佐々木隆） 省略の声がありますので、省略いたします。

お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略し、直ちに審議いたしたいと思いますが、御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎副議長（佐々木隆） 御異議なしと認め、委員会の付託を省略し、直ちに審議いたします。

質疑に入ります。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

◎副議長（佐々木隆） 質疑を終わります。

討論に入ります。

（「討論なし」と呼ぶ者あり）

◎副議長（佐々木隆） 討論を終わります。

本案を採決いたします。

本案は原案のとおり決するに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎副議長（佐々木隆） 御異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

◎副議長（佐々木隆） 日程第5 議案第2号 平成22年度黒石市一般会計補正予算（第6号）を議題といたします。

提案理由の補足説明を求めます。

（「省略」と呼ぶ者あり）

◎副議長（佐々木隆） 省略の声がありますので、省略いたします。

お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略し、直ちに審議いたしたいと思いますが、御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎副議長（佐々木隆） 御異議なしと認め、委員会の付託を省略し、直ちに審議いたします。

質疑に入ります。5番。

◎5番（工藤禎子） 15ページの3款 民生費の3目のところですが、光をそそぐ交付金の関係で、家庭相談員を1人増員したいという説明でしたけれども、やはりDVや児童虐待っていうのは表面的な問題だけではなく、その奥にっていうんですかね、夫婦関係もそうなんですけれども、どうしても暴力は振るわれるんですけどもやっぱり逃れられない。あるいは、心配で暴力を振るわれるけれども心配で帰ってくる。そういう精神状態っていうのも多いわけなんですね。で、毎年6人ほど黒石でもいるということで、これは答えが出てすぐ解決できるというようなものではないので、私はできれば専門的な資格を持っている人、そういう方をできれば雇っていただいた方が、より解決の方法、あるいは解決能力ですね、そういうことも含めて、進めることができるんじゃないかなと。非常に深刻な問題なんですね、精神的に病んだりすると。ましてやその対応が難しい、子育ても今度難しいというようなことにもなっている問題が多いので、そういう点でどういうふうにこの施策で、とりあえずこれたしか2年間だけなので、2年後はどうなるかっていうのも心配なんですけれども、やっぱりそこでの勝ち取り目標っていいですかね、行政ではどういうふうに、このためにこうしたいということで、こういう配置をしながら解決をしていきたいっていう、そういう目標っていいですかね、そういうことをどのように考えているのか、お願いしたいと思います。

それから、次の16ページの4款の保健衛生費のところでお聞きいたしますけれども、ほかの自治体ではですね、このきめ細かな交付金で、例のワクチンの接種を無料化してやるというふうな自治体もあります。これはたまたま大鰐ですけども、三つっていうのは子宮頸がん、それからヒブ、それから小児肺炎球菌、この三つのワクチンの接種はどのように黒石では考えているのか、お聞きいたします。

◎副議長（佐々木隆） 健康福祉部長。

◎健康福祉部長兼福祉事務所長（齋藤繁人） まず、家庭相談員のことですが、担当課としては、議員おっしゃるとおり、保健師の資格のある方を目標に探していきたいなあとは思っております。

それから、この交付金を使って2年間やっていくわけですが、2年目に再度また検討して、引き続きやっていくかどうかは、また検討していきたいと思っています。件数がすごく多いので、その辺も考えてやっていきたいと思います。

それから、保健衛生費のワクチンの接種のことですが、たしかこの交付金でワクチン接種に充てるのはまかりならんということで聞いてました。で、うちの方もこのワクチン接種、3種類の接種ですが、必要なことと考えております。それに向けて、今準備しているところでございます。以上です。

◎副議長（佐々木隆） 質疑を終わります。

討論に入ります。

（「討論なし」と呼ぶ者あり）

◎副議長（佐々木隆） 討論を終わります。

本案を採決いたします。

本案は原案のとおり決するに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎副議長（佐々木隆） 御異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

◎副議長（佐々木隆） 日程第6 議案第3号 平成22年度黒石市国民健康保険黒石病院事業会計補正予算（第2号）を議題といたします。

提案理由の補足説明を求めます。

（「省略」と呼ぶ者あり）

◎副議長（佐々木隆） 省略の声がありますので、省略いたします。

お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略し、直ちに審議いたしたいと思いますが、御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎副議長（佐々木隆） 御異議なしと認め、委員会の付託を省略し、直ちに審議いたします。

質疑に入ります。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

◎副議長（佐々木隆） 質疑を終わります。

討論に入ります。

（「討論なし」と呼ぶ者あり）

◎副議長（佐々木隆） 討論を終わります。

本案を採決いたします。

本案は原案のとおり決するに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎副議長（佐々木隆） 御異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

◎副議長（佐々木隆） 以上で、今期臨時会に上程されました議案の審議は全部終了いたしました。

これにて平成23年第1回黒石市議会臨時会を閉会いたします。

午前10時33分 閉会

地方自治法第123条第2項の規定により、ここに署名する。

平成23年1月28日

黒石市議会議長 斎藤直文

黒石市議会副議長 佐々木 隆

黒石市議会議員 大溝雅昭

黒石市議会議員 工藤賢治